

# 避難について

## 避難時の行動

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは「難」を「避」けることです。普段からどう行動するか決めておきましょう。

### 行政が指定した避難先への立退き避難

- 自ら携行するもの  
○スリッパ  
○マスク  
○消毒液 など



### こんな格好で避難しよう



### 安全な親戚・知人宅への立退き避難

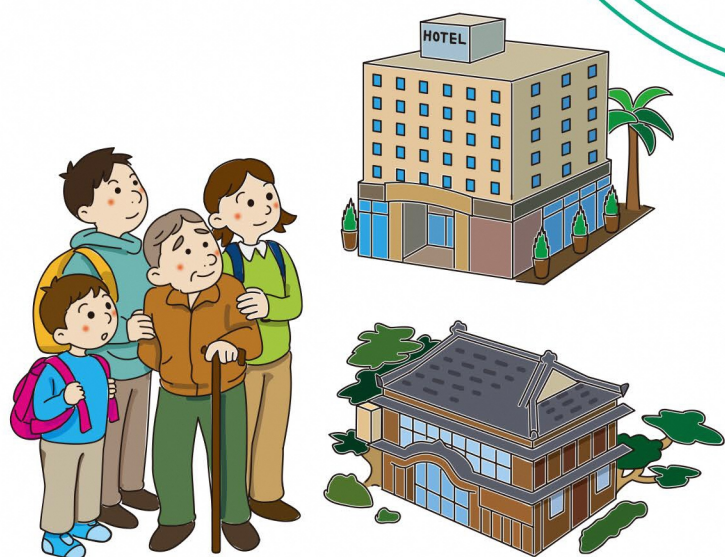
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。



### 安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。



### 屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

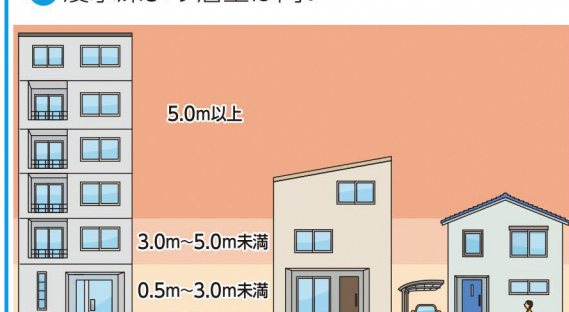


この「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅にとどまり安全を確保することも可能です

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると・・・)



2 浸水深より居室は高い



3 水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分(十分じゃないと・・・) 水、食料、薬などの確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレなどの使用ができなくなるおそれがあります



# ハザード情報について

## 土砂災害警戒区域等について

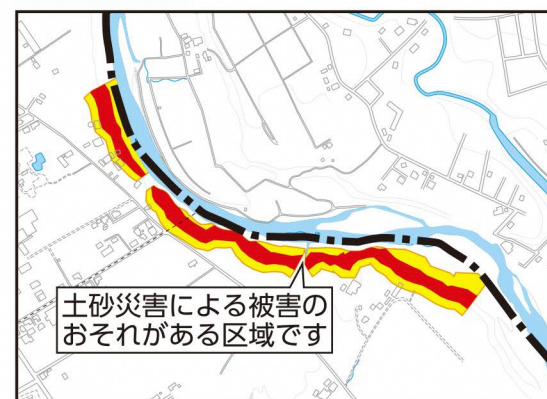
- 本書は栃木県で整備途中段階の資料を基に作成しています。また、土砂災害警戒区域は栃木県で現在も調査を進めているところです。従って、すべての土砂災害警戒区域についてデータが整備されているわけではありません。
- 土砂災害警戒区域は、土砂災害の危険性がある地域について、定められた条件に適合するか調査した結果から指定されたものであり、実際の土砂災害の発生や被害の範囲を示すものではありません。土砂災害警戒区域以外の範囲でも土砂災害が発生する可能性があります。

## 洪水浸水想定区域について (想定最大規模)

- 洪水浸水想定区域は、想定最大規模降雨: 那珂川(48時間雨量/555mm)・余笹川(48時間雨量/760mm)・黒川(48時間雨量/807mm)・奈良川(48時間雨量/869mm)・三蔵川(48時間雨量/843mm)・四ッ川(48時間雨量/892mm)・湯川(24時間雨量/690mm)・菖蒲川(24時間雨量/690mm)・高野川(24時間雨量/690mm)・沢名川(48時間雨量/555mm)・棒川(48時間雨量/907.2mm)・板敷川(48時間雨量/806.2mm)・大和須川(48時間雨量/843mm)・梓川(48時間雨量/843mm)・木下川(48時間雨量/843mm)・荒金沢川(48時間雨量/843mm)・苦戸川(48時間雨量/760.1mm)・白戸川(48時間雨量/760.1mm)・なら沢川(24時間雨量/690mm)・高雄股川(24時間雨量/690mm)・下黒尾川(24時間雨量/690mm)・高野沢川(24時間雨量/690mm)に伴う洪水により氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
- この想定区域は、支川の決壊による氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、洪水浸水想定区域に指定されていない区域での浸水や、想定される浸水深と実際の浸水深が異なる場合があります。

## ハザードマップの見方

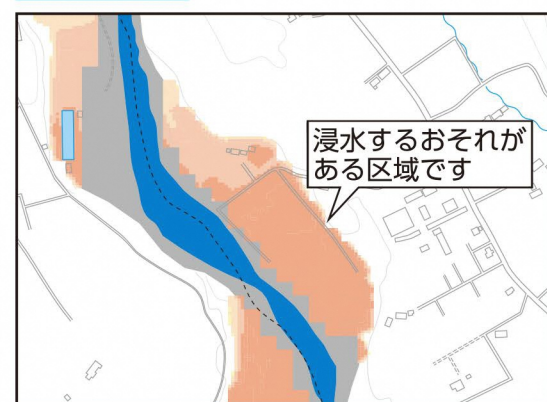
### 土砂災害



- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)**  
建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)**  
住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域



### 水害



#### ※早期立退き避難が必要な区域



#### ※早期立退き避難が必要な区域

生命・身体に直接影響をおよぼす可能性がある家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水深が深い区域など、那須町が地域の水害特性、社会特性に応じて早期の避難場所等への立退き避難が必要として設定する区域です

### 家屋倒壊



#### ※早期立退き避難が必要な区域

**家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸浸食)**  
洪水時に家屋の流失・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある範囲

流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

